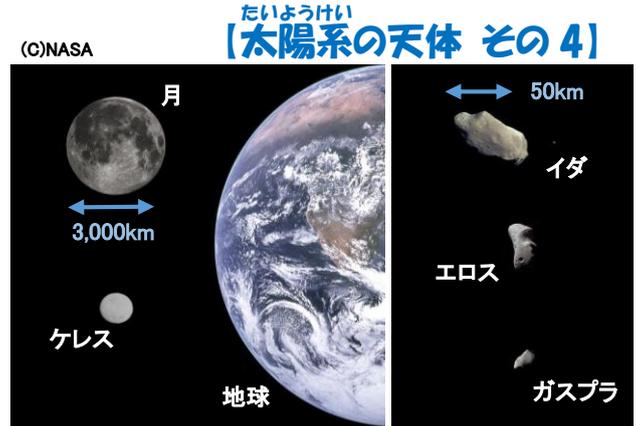


★小惑星ってどんな天体？(2)

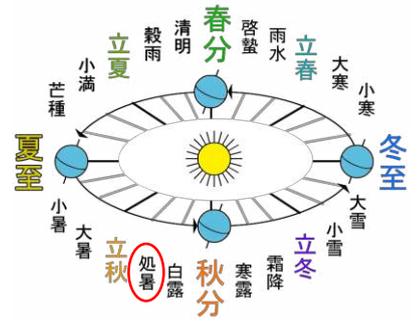
今から200年以上前の1801年に、火星と木星の間に、新たな惑星ではないかと思われる天体が発見されました。ケレスと名付けられたその天体は、直径が月の約4分の1(945kmほど)の大きさで、それから数年間のうちに、同じような場所で、同様に小さな天体が次々と発見されましたが、それらの天体は、惑星と呼ぶには小さすぎるため《小惑星》と呼ばれることとなり、その発見場所も《小惑星帯=アステロイドベルト》と名付けられました。その後、《小惑星》発見のきっかけとなったケレスは、2006年に国際天文学連合(IAU)が惑星の定義を変更した際、「それ自身の重力でほぼ球形を保つに足る質量がある」などの要件に該当するため、冥王星などとともに《準惑星》に分類が変更されました。また、火星と木星の間以外にも、小惑星が集中する領域があるため、火星と木星の間的小惑星帯は《メインベルト》とも呼ばれるようになりましたが、実は《小惑星》という用語自体には、現時点では明確な定義がありません。

現在《小惑星》と呼ばれる天体は、イダやエロス、ガスプラなどのように直径100km以下と小さく、中には直径10m以下のものもあります。そのため望遠鏡を使っても小さな点のようにはしか見えませんが、探査機やレーダーにより詳しい様子が観測されています。《小惑星》の大多数は、いびつで不規則な形をしており、球形なのは、今後《準惑星》に分類変更される可能性がある比較的大きなものや《高速自転小惑星》など、ほんの一部です。《小惑星》の主成分は、岩石、鉄などの金属、氷などです。太陽系の形成初期の微惑星が、木星の巨大な重力により軌道を乱され、衝突によってバラバラになり、大きな惑星に成長できずに《小惑星》になったと考えられています。そのため、《小惑星》を探査することで、太陽系の形成過程について貴重な情報を得られると期待されています。次回以降で、その貴重な情報を地球に持ち帰った日本の小惑星探査機「はやぶさ」と「はやぶさ2」について紹介する予定です。



★二十四節気・8月23日は《処暑》

1年を24等分し、季節を表す二十四節気。8月下旬の節気は《処暑》と呼ばれ、毎年8月23日頃になります。《処暑》とは、暑さがピークを越えて、ようやくおさまる時期のことです。「処」は止まる、落ち着く、という意味で、厳しい残暑もようやく落ち着き、朝夕は涼しい風が吹いて、夏の終りを感じさせる季節を表しています。



★木星と土星が見ごろです！！

太陽系最大の2つの惑星、木星と土星が見ごろを迎えます。土星は8月2日、木星は20日に「衝(地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間)」となり、木星は約マイナス3等、土星は約0等と明るく見応えがあります。太陽が沈む頃に東の空に昇り、太陽が昇るころ西に沈むので、一晩中観察できる絶好のチャンスです。



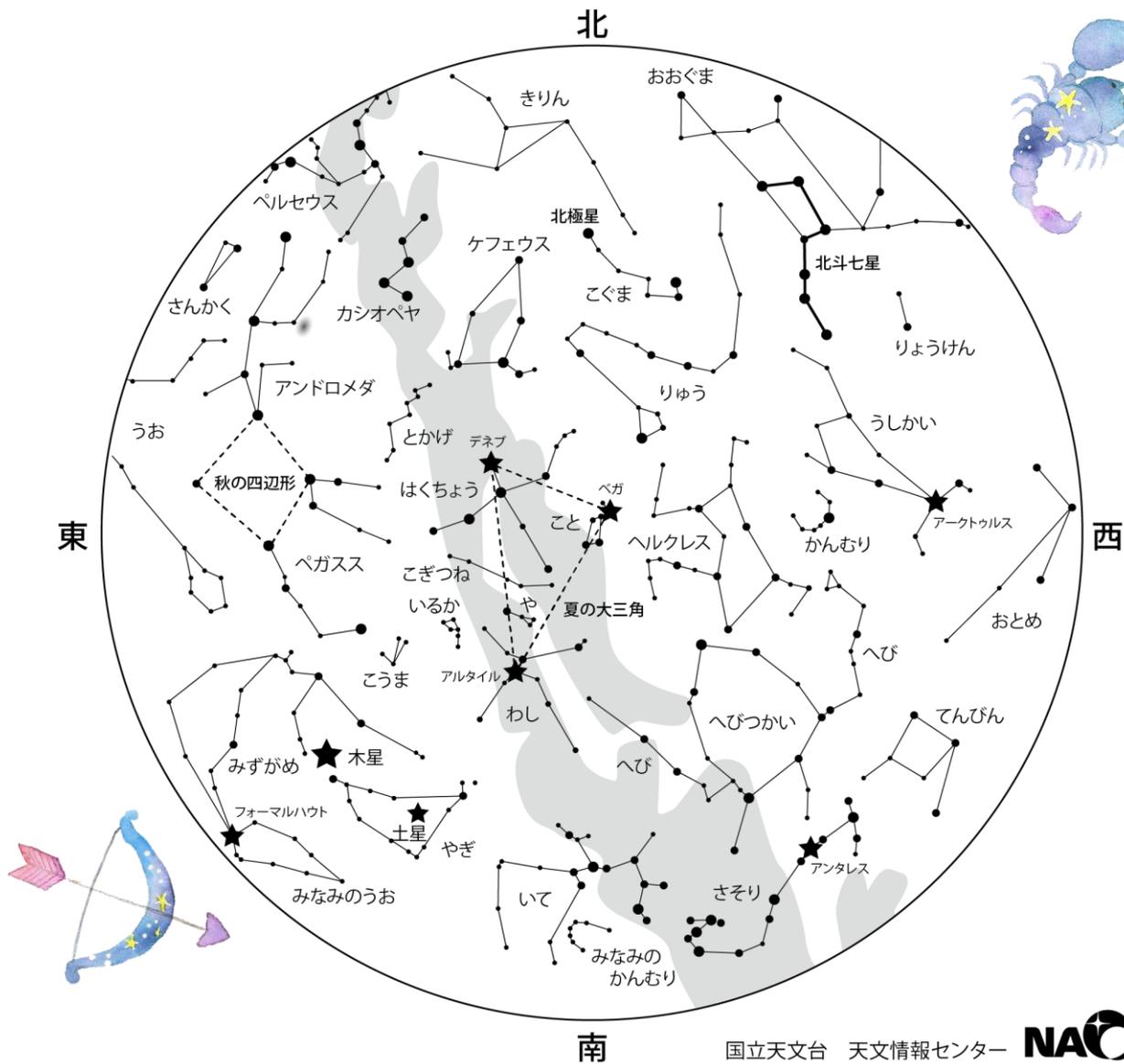
図はステラナビゲーター11を用いて作成、月は大きさを強調しています

★ 8月のプラネタリウムの内容につきましては別刷りの「投影案内」をご覧ください ★

★ プラネタリウムのお休み 8/16(月)、18(水)、23(月)、30(月)

★ 新型コロナウイルス感染症対策で、入場定員を減らして投影しています。

8月下旬午後8時30分頃の星空



国立天文台 天文情報センター **NAOJ**

★ 8月下旬の主な天文現象

16日(月) ● 上弦 <small>じょうげん</small>	22日(日) ○ 満月 <small>まんげつ</small> 、木星のガリレオ衛星 <small>えいせい</small> の相互食 <small>そうごしょく</small> (ガニメデ・エウロパ)
17日(火) <small>くじら座</small>ミラが極大 <small>きょくたい</small> の頃	23日(月) 処暑 <small>しよしよ</small>
20日(金) 木星 <small>もくせい</small> が衝 <small>しょう</small>	30日(月) ● 下弦 <small>かげん</small>
21日(土) 木星 <small>もくせい</small> 、月 <small>とせい</small> 、土星 <small>とせきん</small> が接近	

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 8/15~31) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 8月23日(月) [見やすさ ◎]	4:20 南南西	~	4:27 東北東
◇ 8月25日(水) [見やすさ ◎]	4:23 西南西	~	4:29 北東
◇ 8月26日(木) [見やすさ ◎]	3:38 天頂	~	3:41 北東
◇ 8月28日(土) [見やすさ ○]	3:40 北北西	~	3:43 北北東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。